



2014 年 10 月 24 日

報道機関各位

調査レポート

グラフで見る東海経済（2014 年 10 月）

【今月の景気判断】

東海経済は弱含んでいるが、一部に下げ止まりの動きがみられる。生産は、年初から減少傾向にあったが、足下で下げ止まりの動きがみられる。実質輸出は、8月に3ヶ月ぶりに前月比減少となったが、下げ止まってきている。雇用は、求人倍率の改善の動きが鈍るなど横ばい圏で推移している。個人消費は、夏のボーナスの増加など賃金面からの下支え効果もあって、駆け込み需要の反動減から回復しているが、実質では頭打ちとなっている。設備投資は非製造業が減少しているが、製造業が増加し、全体でも増加している。住宅投資はこのところ減少しており、公共投資は増加が一服している。

先行きについては、生産は、自動車の生産計画が下げ止まりを見込んでいることから、横ばい圏での推移が見込まれる。輸出は、海外景気が緩やかに回復してくる中で次第に持ち直してこよう。消費は、名目所得の改善によるプラス効果もあるが、物価上昇による実質所得の下押しが懸念されるため、回復は緩やかなものに留まろう。公共投資は横ばい圏の推移となろうが、設備投資は製造業を中心に増加基調が続こう。東海経済は、足下で弱含んでいるが、次第に下げ止まってくると見込まれる。

【今月の景気予報】

	3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	↓	☁	→	輸出	→	☁	→
個人消費	→	☁	→	輸入	→	☁	↗
住宅投資	↓	☁	→	生産	↓	☁☀	→
設備投資	↗	☁	↗	雇用	→	☁	→
公共投資	→	☁	→	賃金	↗	☁	→

(注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感(改善、横ばい、悪化)を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。

2. シェード部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。

【当面の注目材料】

- ・世界景気～米中および新興国の景気先行き、日米欧の金融政策、国際情勢に伴う原油・為替への影響
- ・企業活動～消費増税後、減少傾向にある生産動向、規模・業種別の設備投資の広がり、新興国向け輸出
- ・家計～物価上昇と賃金の持ち直し、実質所得減少の影響

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 主任研究員 塚田裕昭

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 / 〒461-851 名古屋市東区葵 1-19-30

TEL: 03-6733-1070 / 052-307-1106

【各項目のヘッドライン】

項目	9月のコメント	10月のコメント	ページ
1. 景気全般	回復が一服しており、一部に弱い動きがみられる	弱含んでいるが、一部に下げ止まりの動きがみられる	3～4
2. 生産	減少傾向にある	下げ止まりの動きがみられる	5～7
3. 雇用	横ばい圏で推移している	横ばい圏で推移している	7～8
4. 賃金	緩やかに持ち直している	持ち直している	9
5. 個人消費	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち	10～11
6. 住宅投資	弱含んでいる	減少している	12
7. 設備投資	製造業は増加している	製造業は増加している	12～13
8. 公共投資	増加が一服している	増加が一服している	13
9. 輸出入	輸出は下げ止まり、輸入は横ばい圏	輸出は下げ止まり、輸入は横ばい圏	14～15
10. 物価	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇	15
11. 金融	預金、貸出ともに増加	預金、貸出ともに増加	16
12. 倒産	倒産件数、負債総額ともに減少	倒産件数、負債総額ともに減少	16

（注）シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目（11.金融、12.倒産を除く）

（＊）参考資料：「グラフで見る景気予報」 → <http://www.murc.jp/thinktank/economy/overall/japan>

【前月からの変更点】
1. 景気全般

景気動向指数が弱含みで推移する中、生産など一部に下げ止まりの動きがみられる。

2. 生産

8月の東海3県の鉱工業生産指数は、前月比+0.6%と2ヶ月連続で増加した。

4. 賃金

消費関連の指標は、前年比で増加しているものもあるが伸び率は物価上昇率に比べれば小幅であり、実質所得の減少が消費の頭をおさえている。

6. 住宅投資

8月の東海4県の住宅着工戸数（季調済）は、前月比-3.3%と4ヶ月連続で減少した。前年比でも-24.0%の7,867戸と4ヶ月連続の減少となった。

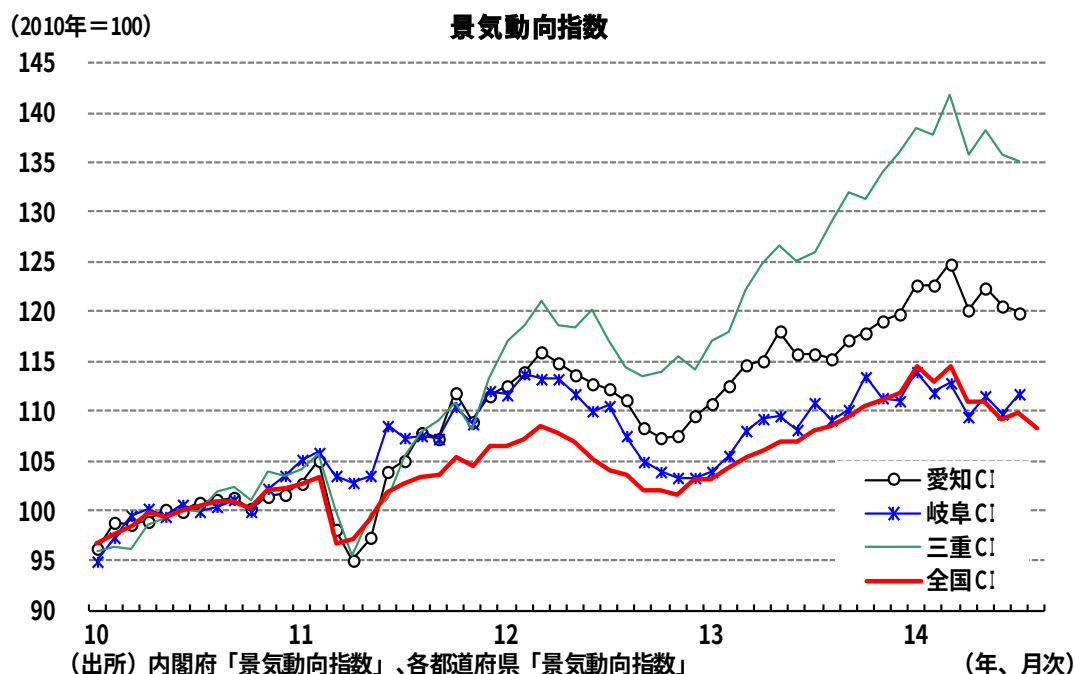
【主要経済指標の推移】

経済指標		13 4-6	13 7-9	13 10-12	14 1-3	14 4-6	14 7-9	14 4	14 5	14 6	14 7	14 8	14 9
景気全般	景気動向指数 愛知（C I、一致指数）	116.3	116.1	118.9	123.4	121.1		120.2	122.4	120.6	119.9		
	岐阜（C I、一致指数）	109.0	110.1	112.0	112.9	110.3		109.5	111.6	109.8	111.8		
	三重（C I、一致指数）	125.6	129.0	133.7	139.3	136.6		135.8	138.3	135.8	135.0		
	景気ウォッチャー調査（現状判断DI）	54.5	52.3	55.7	56.1	45.3	49.3	43.2	44.9	47.9	50.8	49.2	48.0
	（先行判断DI）	55.4	53.7	54.4	40.5	51.8	50.9	47.9	53.8	53.6	53.1	50.1	49.4
	短観業況判断DI（大企業製造業）	7	17	19	28	12	9	12	<12月予想>				
	（中小企業製造業）	-11	-3	8	13	0	-6	-6	<12月予想>				
生産	（非製造業）	2	9	12	17	9	3	4	<12月予想>				
	法人企業統計経常利益 製造業（兆円）	1.1	0.8	0.9	0.5	1.0							
	非製造業（兆円）	0.2	0.3	0.2	0.1	0.3							
	鉱工業生産（季節調整済、前期比・前月比）	1.5	1.6	0.6	5.6	-5.1		-4.9	3.4	-6.1	4.6	0.6	
	鉱工業出荷（季節調整済、前期比・前月比）	3.5	0.8	0.4	3.6	-2.7		-2.4	0.4	-1.2	-0.1	-0.5	
	鉱工業在庫（季節調整済、前期比・前月比）	-1.3	-0.1	-3.8	2.7	1.2		0.6	1.2	-0.4	4.1	-0.4	
	鉱工業生産 輸送機械（ " ）	0.7	-1.1	2.0	4.1	-5.1		-3.8	3.2	-6.1	0.7	-2.8	
	一般機械（ " ）	4.6	0.1	4.1	9.0	-3.9		-2.2	6.0	-3.0	3.0	-1.7	
	電子部品・デバイス工業（ " ）	7.8	4.1	-2.0	17.2	-3.8		-12.3	5.8	-4.7	4.7	11.4	
	プラスチック製品工業（ " ）	0.1	0.3	3.3	6.2	-8.3		-5.1	0.0	-6.9	1.7	-4.5	
	化学（ " ）	-1.4	-2.4	0.0	-5.7	-13.3		-7.1	2.4	-0.5	1.8	0.3	
	電気機械（ " ）	-0.8	4.0	3.6	3.6	-4.0		0.6	-2.6	-0.9	1.2	-1.8	
	鉄鋼（ " ）	3.1	-1.9	4.8	-2.1	-0.4		-1.0	3.6	-5.0	1.6	2.0	
	金属工作機械受注 総受注（億円）	322.5	352.2	360.8	340.0	354.4		356.7	337.0	369.3	379.0	368.8	
	国内受注（億円）	93.8	113.2	122.8	112.5	111.0		107.6	107.7	117.6	125.6	117.1	
	海外受注（億円）	228.7	239.0	241.2	227.5	243.4		249.1	229.3	251.7	253.4	251.7	
雇用	大口販売電力量	-1.7	0.2	3.6	5.1	1.0		1.7	-0.3	1.6	0.9	-2.1	
	完全失業率（原数値、%）	3.5	3.1	3.3	2.7	3.0							
	就業者数（原数値、万人）	773	778	774	759	777							
	常用雇用指数 愛知	100.1	100.2	100.2	100.1	101.0		100.6	101.2	101.3	101.3		
	岐阜	99.0	98.9	98.5	97.7	98.1		98.3	98.0	98.0	97.6		
	三重	97.8	98.9	98.0	97.2	97.5		97.6	97.3	97.5	97.8		
	有効求人倍率 愛知（季節調整値、倍）	1.3	1.36	1.5	1.5	1.6		1.56	1.57	1.57	1.53	1.52	
	岐阜（季節調整値、倍）	1.1	1.11	1.2	1.2	1.3		1.23	1.29	1.31	1.36	1.32	
	三重（季節調整値、倍）	1.0	1.07	1.2	1.2	1.2		1.24	1.23	1.22	1.19	1.16	
	新規求人倍率 愛知（季節調整値、倍）	2.0	2.09	2.3	2.3	2.3		2.28	2.34	2.40	2.13	2.34	
賃金	岐阜（季節調整値、倍）	1.7	1.66	1.7	1.9	1.9		1.76	1.86	2.00	1.91	1.68	
	三重（季節調整値、倍）	1.6	1.63	1.8	1.8	1.8		1.87	1.79	1.72	1.63	1.60	
	現金給与総額	1.2	0.9	2.1	0.4	0.6		-0.4	2.4	0.1	3.5		
	所定内給与	0.8	0.3	0.6	0.2	0.0		-0.9	0.7	0.0	0.8		
	所定外給与	-0.4	3.6	8.4	5.1	4.0		4.0	5.1	2.8	4.5		
個人消費	勤労者世帯（含む農家）の名目収入 勤め先収入	6.6	1.8	7.0	-2.3	-11.1		-10.1	-0.6	-18.1	-9.6	-2.6	
	定期収入	-0.4	2.9	8.9	-3.0	-5.6		-7.8	-3.4	-5.5	-3.7	-6.0	
	勤労者世帯（含む農家）の名目消費支出	2.7	3.1	4.8	8.5	-4.0		-5.8	-4.8	-0.9	3.8	-5.1	
	百貨店販売額（名古屋市内）	7.8	4.0	5.4	23.3	-6.4	0.3	-12.8	-4.8	-2.2	-0.6	-1.3	2.8
	百貨店＋スーパー販売額	1.1	3.2	3.0	7.6	-2.6		-4.9	-2.3	-0.7	-0.7	1.9	
	コンビニエンスストア販売額	0.3	0.3	1.4	0.1	-2.1		-3.5	-1.1	-1.6	-0.8	-2.4	
	新車登録台数（含む軽）	-9.0	3.5	19.8	20.3	-0.3		-7.2	-0.3	5.4	-3.0	-11.2	
	家電販売額	2.3	-3.7	1.4	40.5	-14.0		-18.9	-12.3	-11.8	-8.3	-6.2	
住宅投資	消費者態度指数（一般世帯、原数値）	46.3	45.0	41.1	39.1	39.7	42.1	37.3	39.9	41.9	42.5	42.4	41.4
	トヨタ国内生産台数（季節調整値、万台）	29.3	27.6	26.0	30.0	28.3	26.0	30.6	28.0	26.4	26.9	24.5	26.5
	新設住宅着工戸数（季節調整済年率換算、千戸）	114.7	121.4	118.8	106.3	104.5		110.1	105.1	98.2	93.4	90.3	
	（前年比、%）	18.1	19.7	11.7	-1.1	-9.5		0.1	-4.6	-20.7	-22.5	-24.0	
設備投資	法人企業統計設備投資（製造業）	10.1	30.3	24.8	13.0	27.1							
	（非製造業）	-7.0	-12.9	0.8	-13.0	-7.8							
公共投資	企業立地件数	-	-	-	-	-		19	28				
	公共工事請負額	6.5	26.7	5.4	-2.1	34.2	-6.6	37.7	31.0	32.1	-1.3	-15.3	-4.8
輸出入	実質輸出（季節調整値、07/12=100）	87.4	86.9	88.6	85.3	83.2		85.4	81.6	82.6	88.6	84.4	
	通関輸出（金額ベース、円建て）	10.9	16.1	22.0	7.3	-1.9		4.2	-5.9	-4.3	9.2	-3.3	
	実質輸入（季節調整値、07/12=100）	97.3	98.0	95.1	103.7	97.6		93.7	101.4	97.7	97.9	96.5	
	通関輸入（金額ベース、円建て）	6.7	10.4	22.2	19.9	5.9		1.8	3.1	13.9	8.8	4.1	
物価	消費者物価指数（除く生鮮）	-0.1	0.6	1.1	1.2	3.3		3.1	3.5	3.4	3.5	3.2	
	（食料及びエネルギーを除く総合）	-0.3	0.0	0.8	0.9	2.3		2.3	2.3	2.3	2.4	2.3	
金融	国内銀行預金残高	1.6	1.9	2.6	2.4	1.7		2.1	1.7	1.3	1.8	2.2	
	国内銀行貸出残高	1.6	2.3	2.4	1.4	1.5		1.4	1.3	1.6	2.4	2.4	
倒産	倒産件数	-12.5	-13.3	13.9	-5.9	-11.3	-25.0	-1.2	-11.8	-20.7	-42.2	-14.8	-5.6

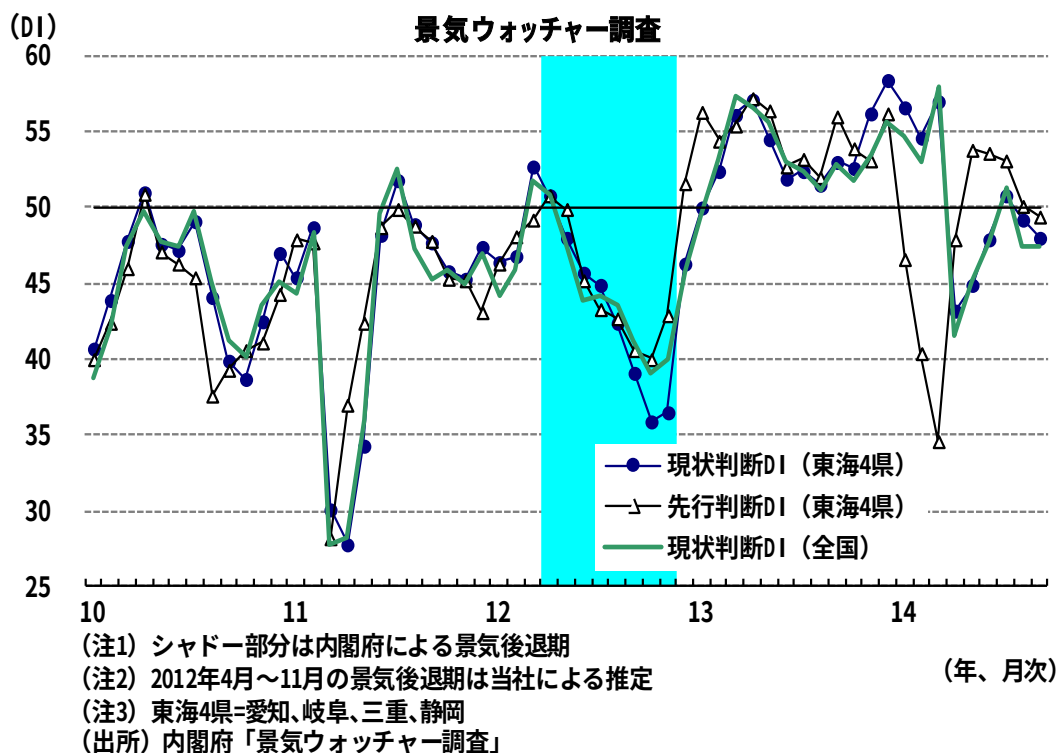
〔注〕括弧書きのない場合は、単位は前年比、%。

1. 景気全般 ～弱含んでいるが、一部に下げ止まりの動きがみられる

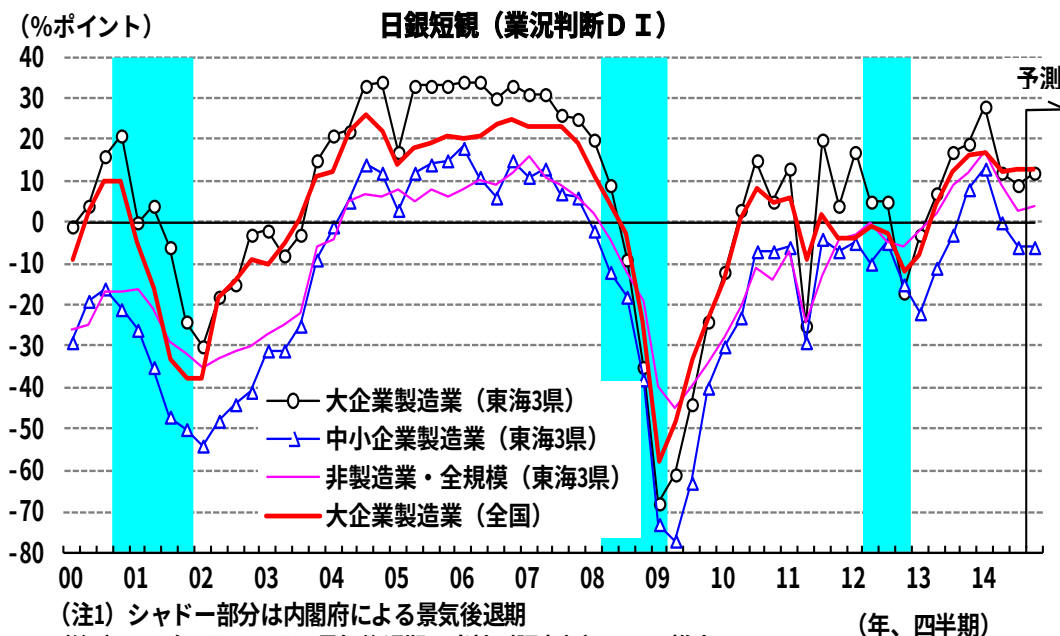
○7月の東海3県の景気動向指数・C I 一致指数は、愛知県が8系列のうち4系列がマイナス寄与となり、前月差-0.7ポイントと2ヶ月連続で低下した。三重県も同-0.8ポイントと2ヶ月連続で低下、岐阜県は同+2.0ポイントと2ヶ月ぶりに上昇した。先行指数は、愛知県は低下したが、岐阜県、三重県は上昇した。



○9月の東海4県の景気ウォッチャー調査は、足元の景況感を示す現状判断D Iが前月差-1.2ポイントの48.0と2ヶ月連続の低下となり、景気の横ばいを示す50を2ヶ月連続で下回った。家計動向関連の現状判断D Iは同+0.5ポイントの47.7と2ヶ月ぶりに上昇した。先行判断D Iは、同-0.7ポイントの49.4と4ヶ月連続で低下した。

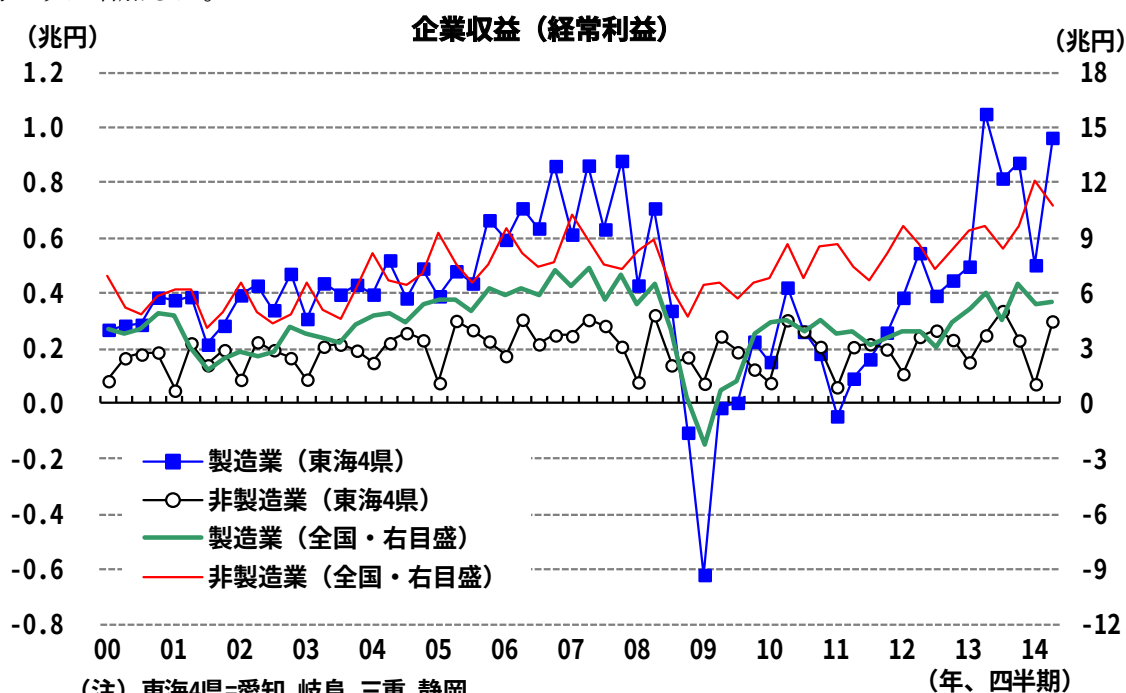


○日銀短観 9 月調査では、東海 3 県の大企業製造業の業況判断 D I (「良い」-「悪い」)は+9 と、前回 6 月調査から 3 ポイント低下し、2 四半期連続で悪化した。中小企業製造業は-6 となり前回より 6 ポイント低下、こちらも 2 四半期連続の悪化となった。業況判断 D I の 12 月予測は、大企業製造業は+12 と改善、中小製造業では-6 と横ばいが見込まれている。



(注1) シャドー部分は内閣府による景気後退期
(注2) 2012年4月～11月の景気後退期は当社 (調査部) による推定
(注3) 調査対象企業見直し時における前回調査の計数は見直し後で接続。
(注4) 東海3県=愛知、岐阜、三重。
(出所) 日本銀行、日本銀行名古屋支店「企業短期経済観測調査」

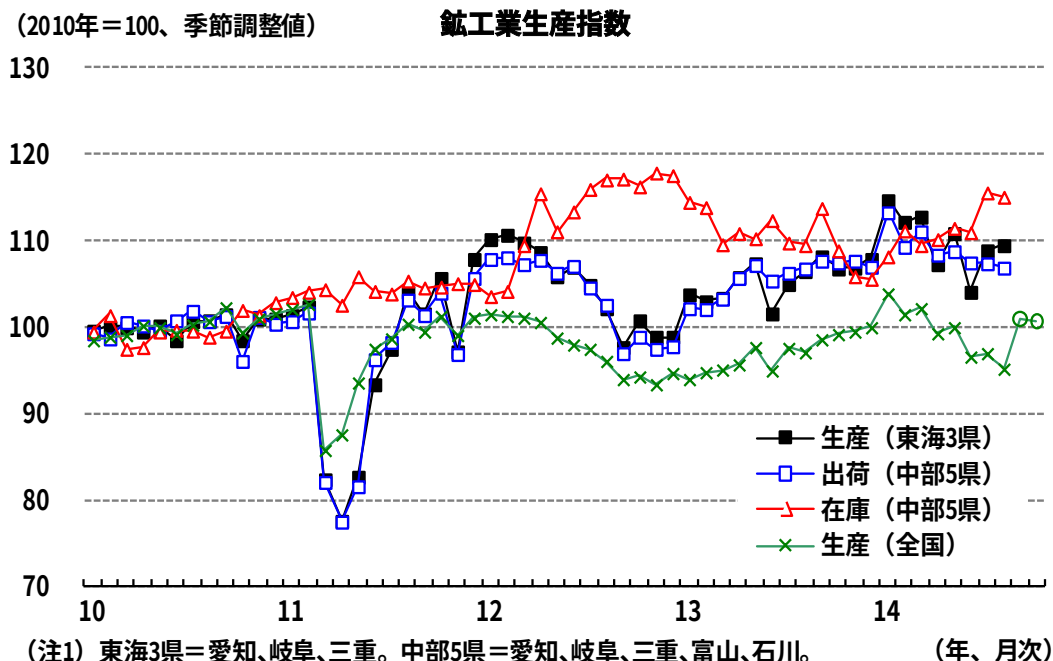
○2014年4～6月期の東海4県の企業収益 (経常利益、全産業) は前年同期比で-2.7%の1兆2,652億円と 2四半期連続で減少した。内訳をみると、製造業は前年同期が高い水準であったことも影響し、同 -8.2%の9,648億円と9四半期ぶりの減益となった。一方、非製造業は同+20.3%の3,004億円と3四半期ぶりに増加した。



(注) 東海4県=愛知、岐阜、三重、静岡。
(出所) 財務省「法人企業統計調査」、東海財務局「四半期別法人企業統計調査」

2. 生産 ～下げ止まりの動きがみられる

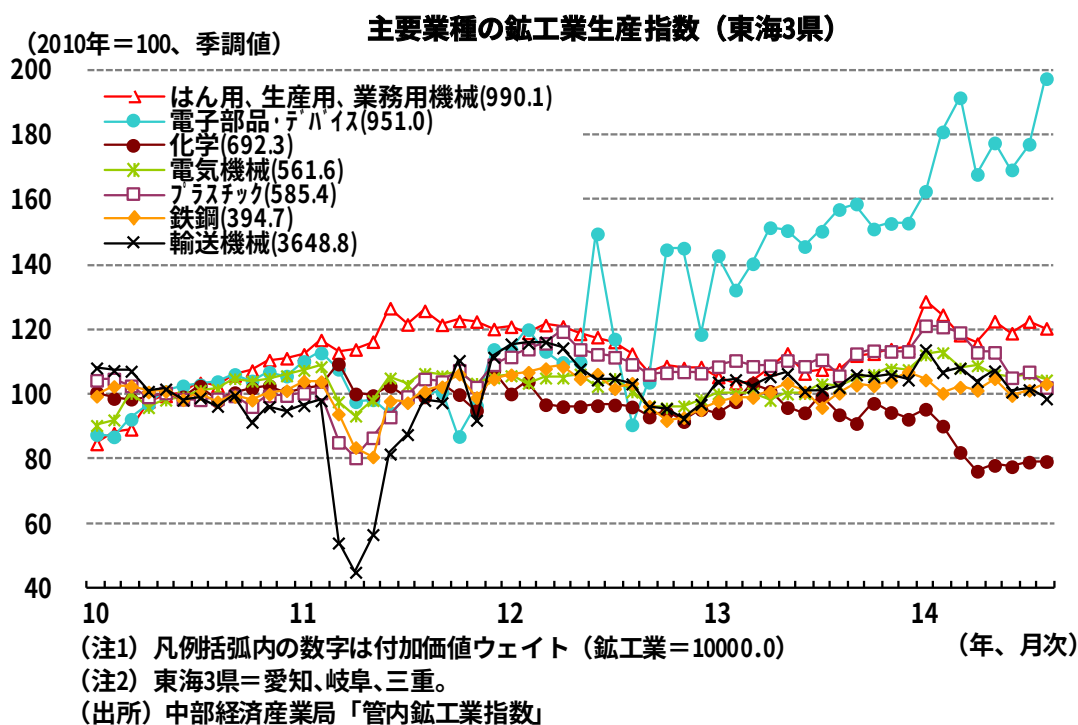
○8月の東海3県の鉱工業生産指数は、前月比+0.6%と2ヶ月連続で増加した。東海3県の生産は、今年1月をピークに減少傾向で推移してきたが、このところ下げ止まりの動きが見られる。トヨタ自動車の生産計画は下げ止まりを見込んでおり、今後の東海地区の生産は、自動車を中心に横ばい圏での推移が予想される（P.11下図 トヨタ国内生産計画参照）。



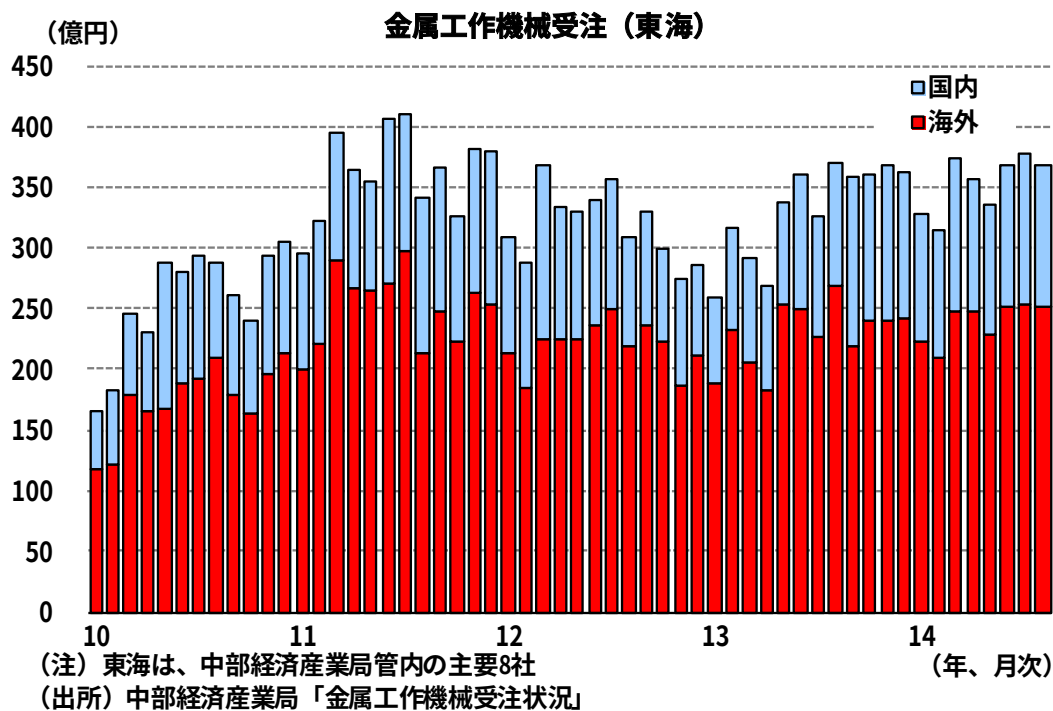
(注1) 東海3県=愛知、岐阜、三重。中部5県=愛知、岐阜、三重、富山、石川。

(注2) 生産（全国）の「○」は製造工業生産予測結果から試算した予測。

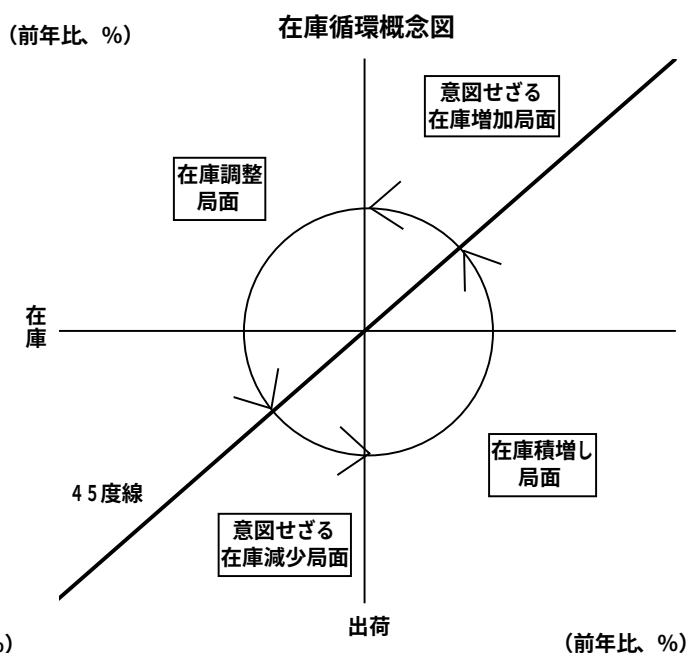
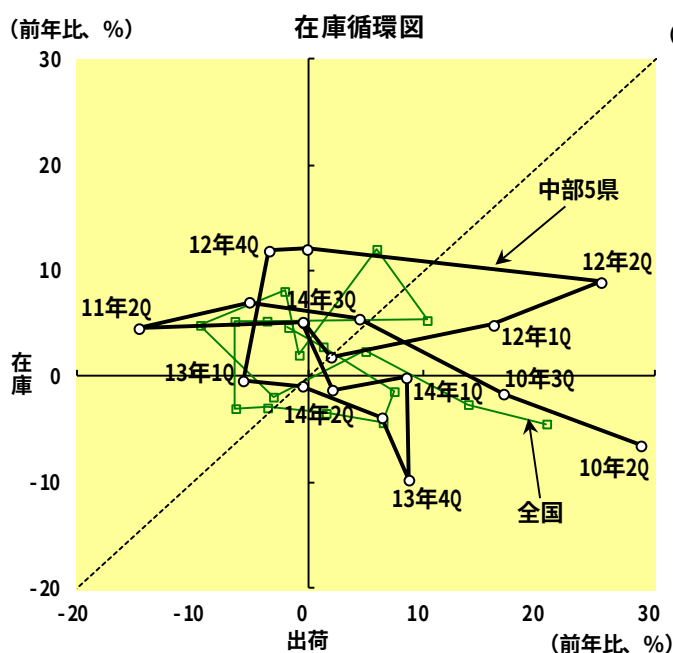
○業種別では、乗用車（前月比-7.2%）は2ヶ月ぶりに低下、自動車部品（同-3.0%）は3ヶ月連続で低下し、輸送用機械全体（同-2.8%）は2ヶ月ぶりに低下した。はん用・生産用・業務用機械（同-1.7%）、プラスチック製品（同-4.5%）なども低下した。一方、鉄鋼（同+2.0%）、電子部品・デバイス（同+11.4%）、航空機部品（同+3.2%）などが上昇した。



○8月の中部の主要工作機械メーカー8社の総受注額は、前年同月比-0.5%と3ヶ月ぶりに減少した。国内受注は同+15.5%と13ヶ月連続で増加したが、海外受注が同-6.5%と3ヶ月ぶりに減少した。欧州向け（同+10.4%）は増加したが、米国（同-24.6%）、中国（同-10.1%）が大きく減少し、北米向け（同-17.8%）、アジア向け（同-0.3%）が減少となった。

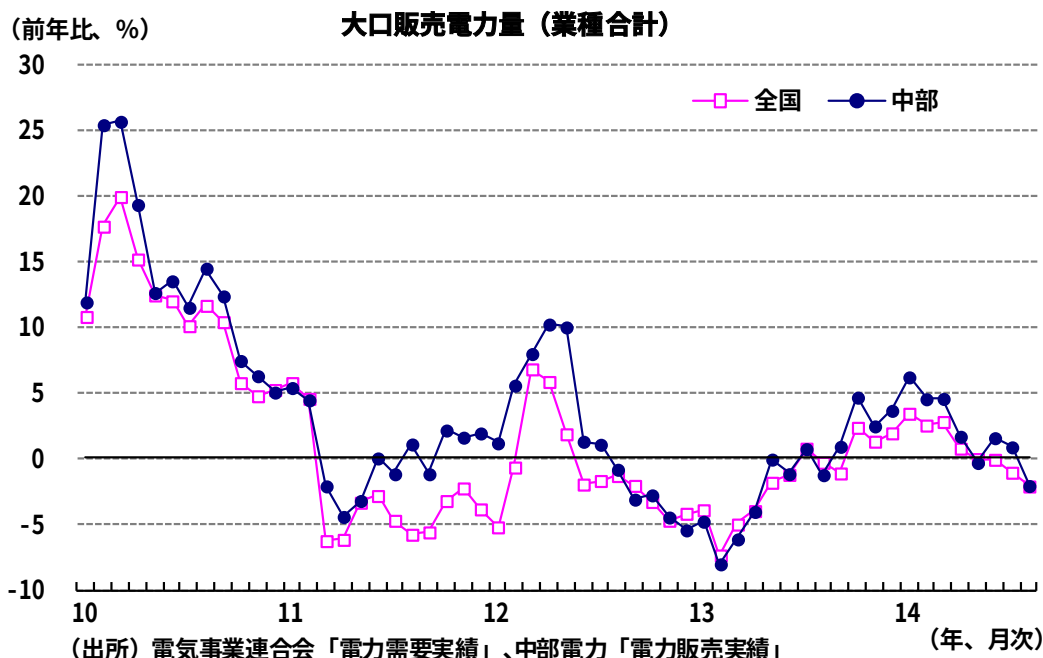


○8月の中部5県の出荷は、前月比-0.5%と小幅ながら3ヶ月連続で減少した。電子部品・デバイス、化学工業などで増加したが、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械などで減少した。在庫は、同-0.4%と2ヶ月ぶりに減少した。電気機械、鉄鋼などで増加したが、窯業・土石製品、輸送機械などが減少した。



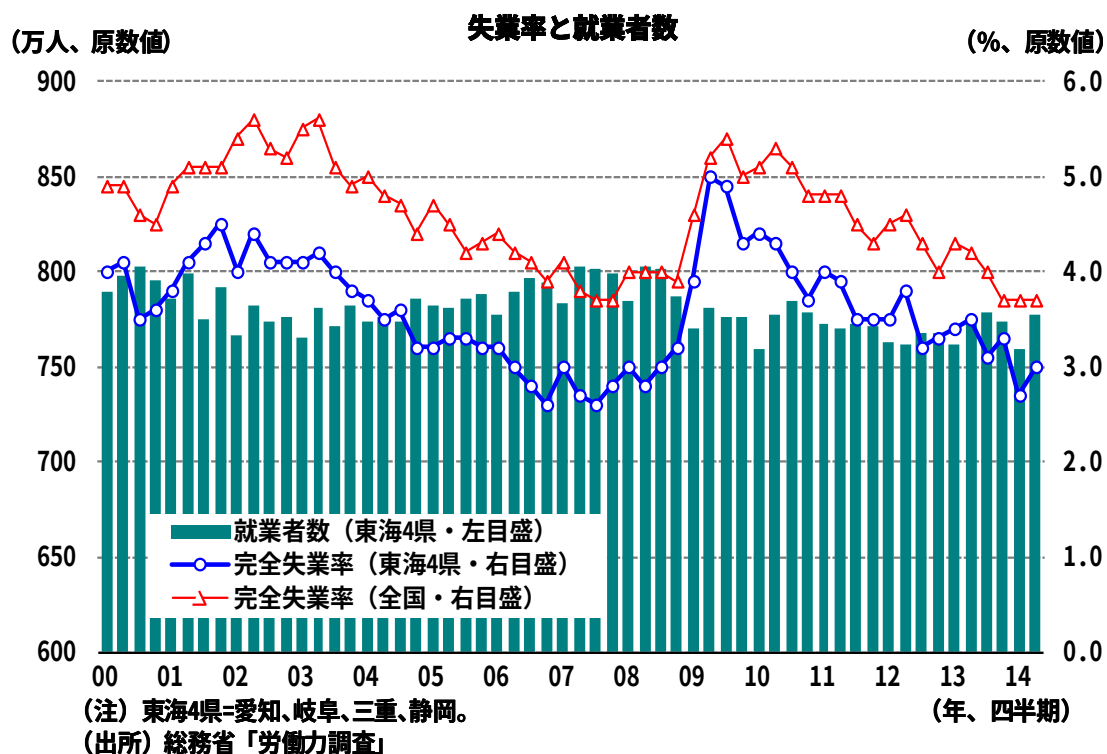
（注1）数値は四半期・原数値の前年比、在庫は期末値
（注2）中部5県＝愛知、岐阜、三重、富山、石川。
（注3）直近14年3Qの出荷は7、8月平均、在庫は8月の前年比
（出所）経済産業省「鉱工業指数」中部経済産業局「管内鉱工業指数」

○8月の中部電力管内の大口電力（契約電力500kw以上）は、前年同月比－2.1%と3ヶ月ぶりに減少した。鉄鋼業向けが同+3.5%と3ヶ月連続で増加したが、自動車などの機械工業向けが同－0.8%と14ヶ月ぶりに減少し、自動車部品を含む窯業・土石向け（+1.2%）も2ヶ月ぶりに減少した。

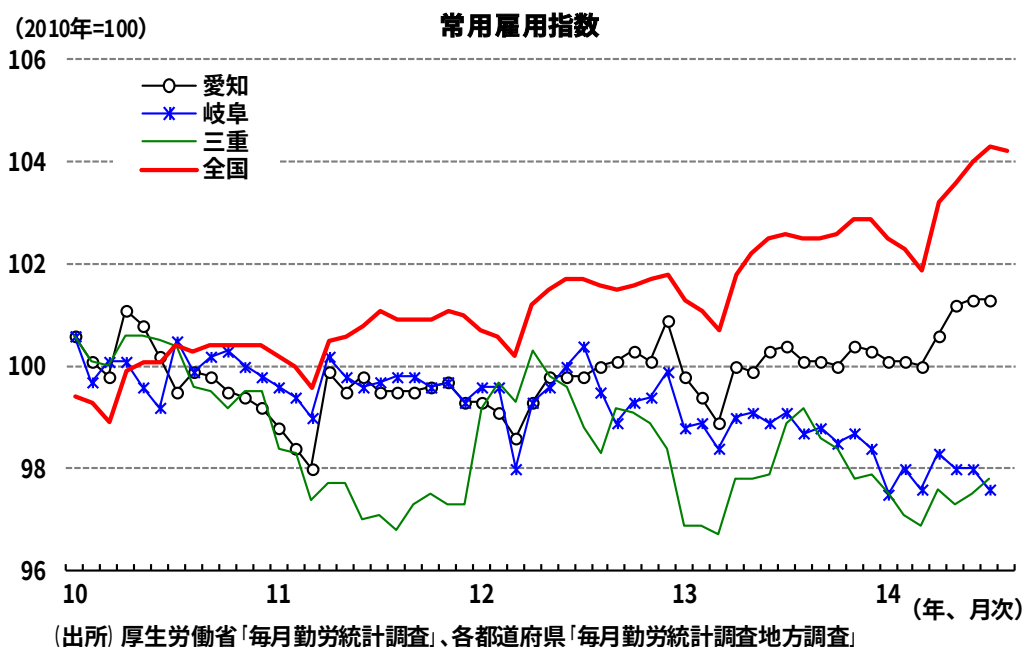


3. 雇用 ～横ばい圏で推移している

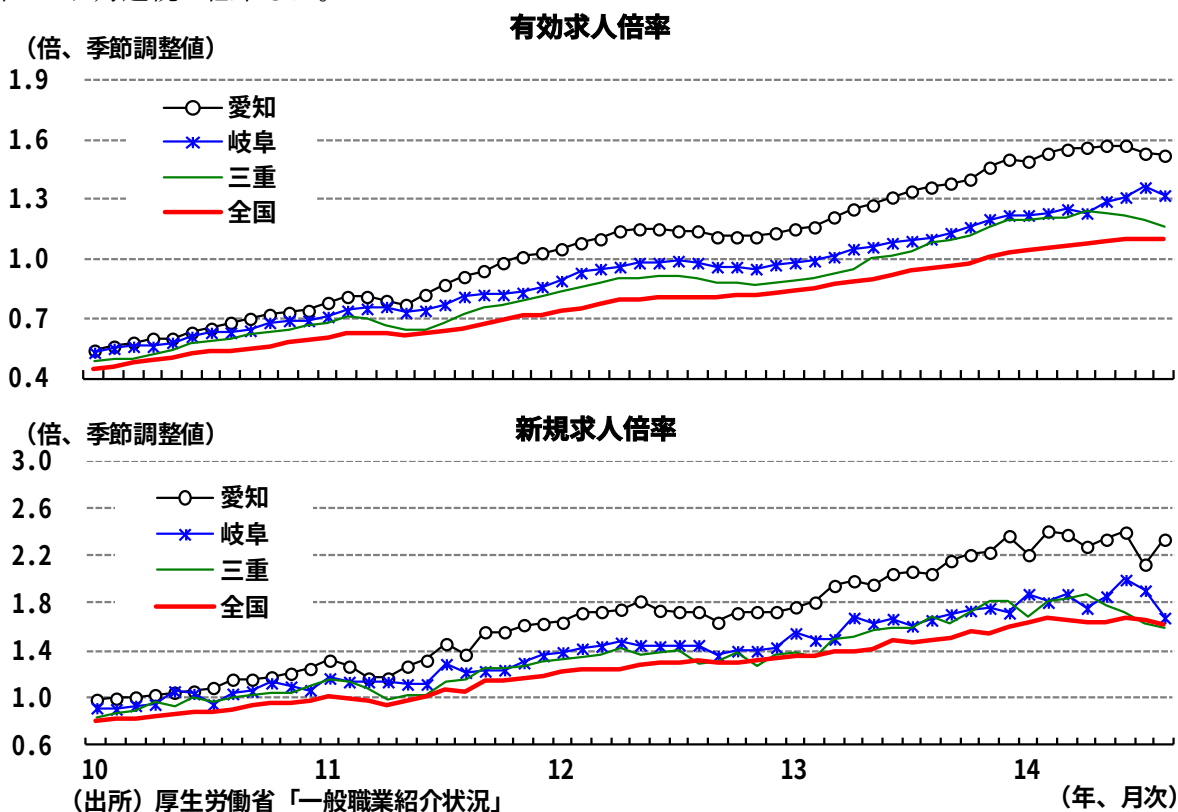
○2014年4～6月期の東海4県の完全失業率は3.0%（前年差－0.5%ポイント）と前年と比べて大きく低下し、全国（3.7%）と比較しても低水準となっている。また、同時期の就業者数は前年差4万人の増加となった。一方、東海3県の常用雇用指数は、全国に比べて弱い動きが続いている。愛知県の有効求人倍率は2ヶ月連続で低下、新規求人倍率は2ヶ月ぶりに上昇した。



○7月の東海3県の常用雇用指数は、愛知県が前年比+0.9%と7ヶ月連続で上昇し、全国（同+1.7%）の動きに近づいてきている。一方、岐阜県は同-1.5%と16ヶ月連続、三重県も同-1.1%と4ヶ月連続で低下し、依然として全国に比べて弱い動きが続いている。

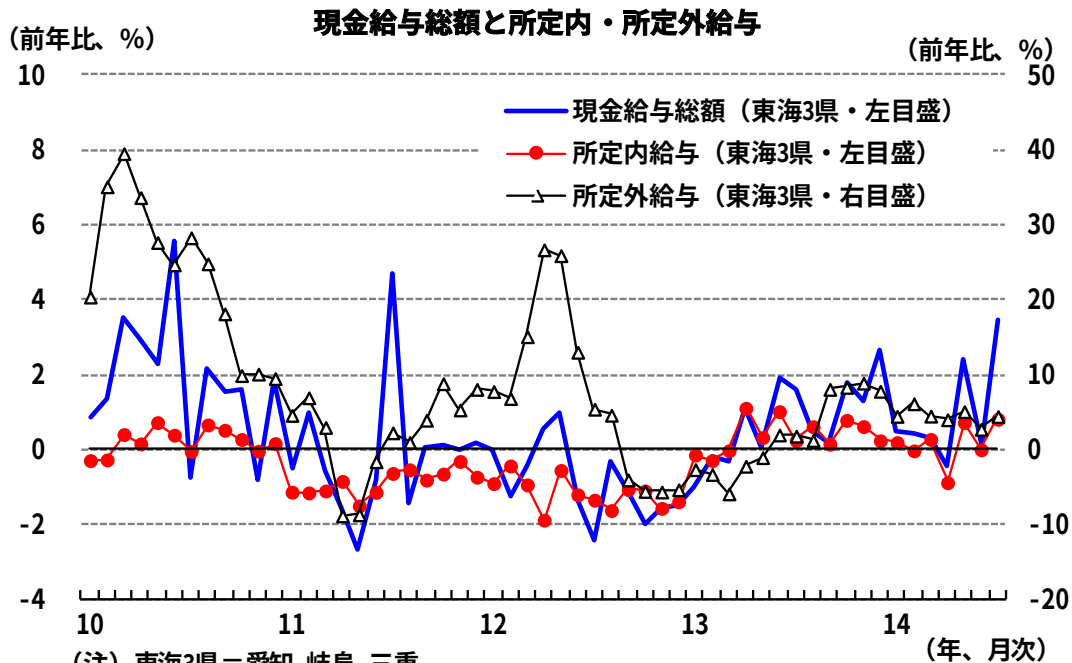


○8月の東海3県の有効求人倍率（季節調整値）は、愛知県が1.52倍と2ヶ月連続で低下し、全国2位となった。岐阜県は1.32倍と4ヶ月ぶりに低下、三重県は1.16倍と4ヶ月連続で低下した。新規求人倍率（同）は、愛知県が2.34倍と2ヶ月ぶりに上昇、岐阜県も1.68倍と2ヶ月連続、三重県は1.60倍と4ヶ月連続で低下した。



4. 賃金 ～持ち直している

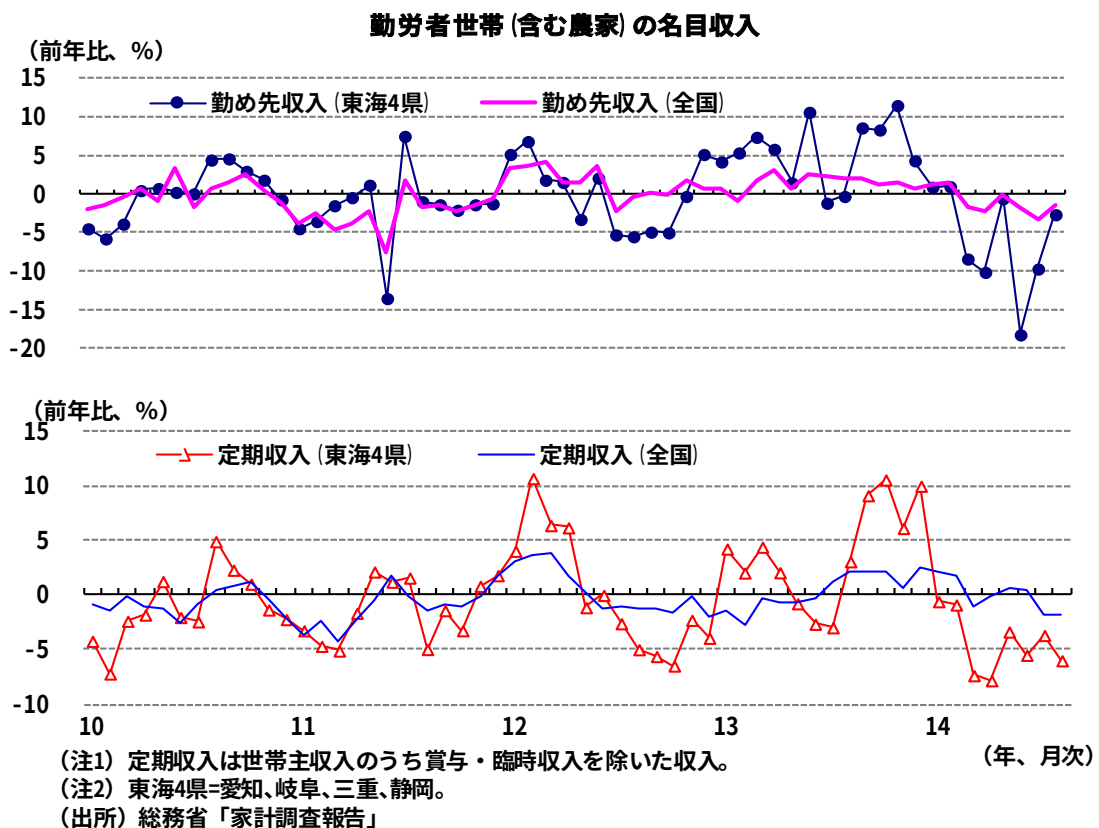
○7月の一人当たり現金給与総額は、前年比+3.5%と増加となった。7月に支給する企業のボーナスが大きく増加したことが影響し、現金給与総額の伸びは大きめの数字となった。また、所定外給与が同+4.5%と14ヶ月連続で増加、所定内給与は同+0.8%と増加した。定昇やベアの実施があったことから、今後も賃金は緩やかな持ち直しが続くと見込まれる。



(注) 東海3県＝愛知、岐阜、三重。

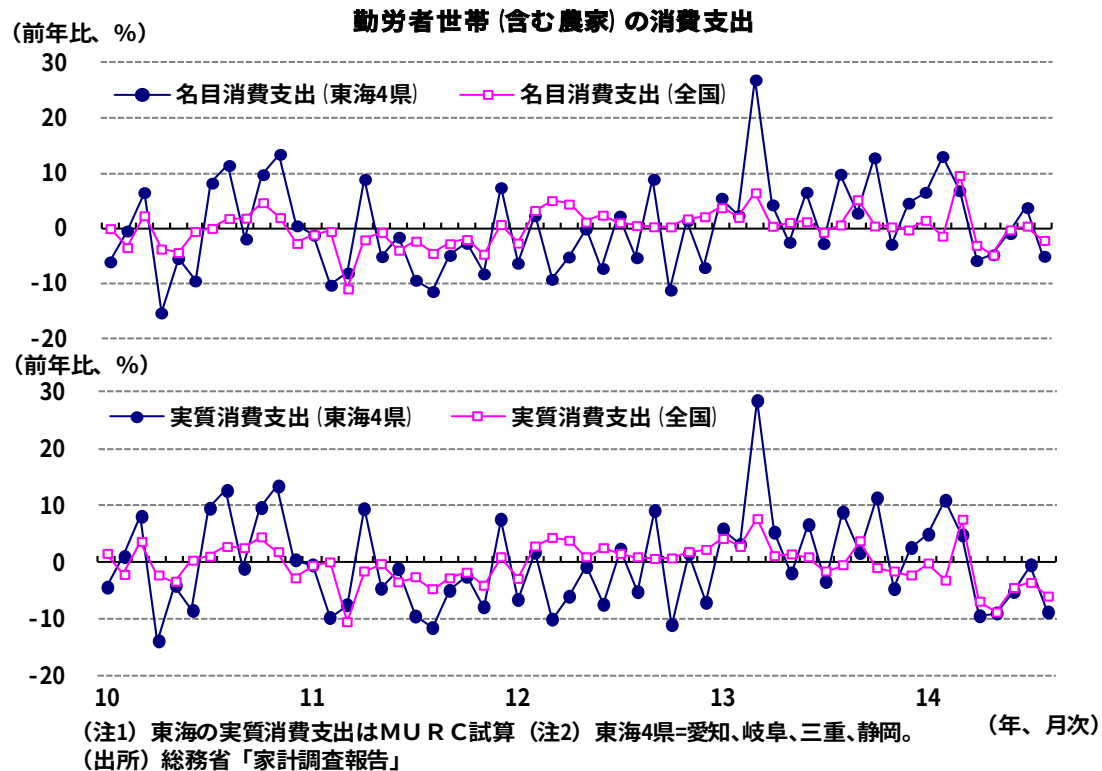
(出所) 各都道府県「毎月勤労統計調査地方調査」

○家計調査によると、8月の東海4県の勤労者世帯（含む農家）の賞与を含む勤め先収入は前年比-2.6%と6ヶ月連続で減少した。また、定期収入（世帯主収入のうち賞与・臨時収入を除いた収入）は前年比-6.0%と8ヶ月連続で減少した。

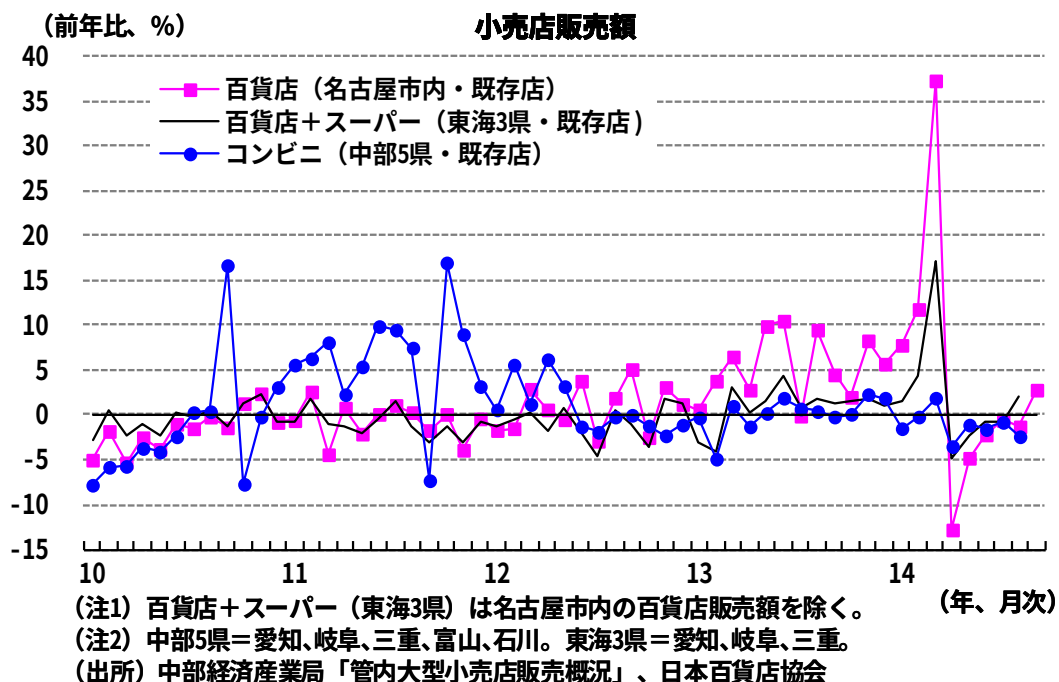


5. 個人消費 ～駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち

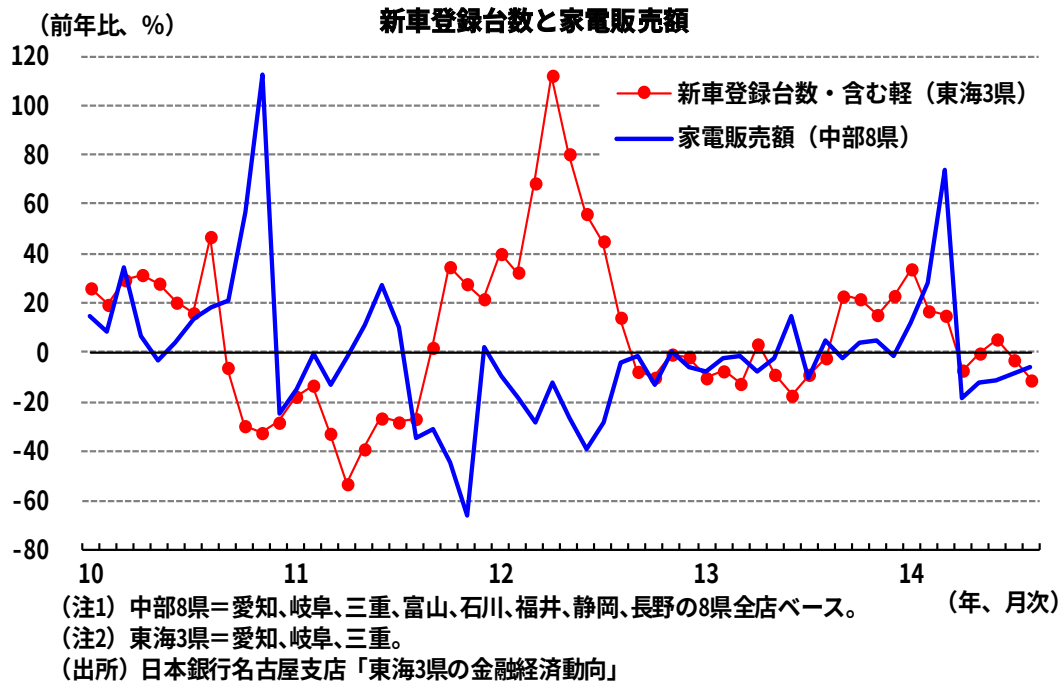
○7月の東海4県の勤労者世帯（含む農家）の名目消費支出は、前年比－5.1%と2ヶ月ぶりに減少した。実質では同－8.8%と減少が続いている。春闘の妥結結果や夏のボーナス支給の増加もあったが、物価上昇により実質所得は減少し、足元で消費者マインドも弱含んできているため、今後の個人消費の持ち直しは緩やかにとどまろう。



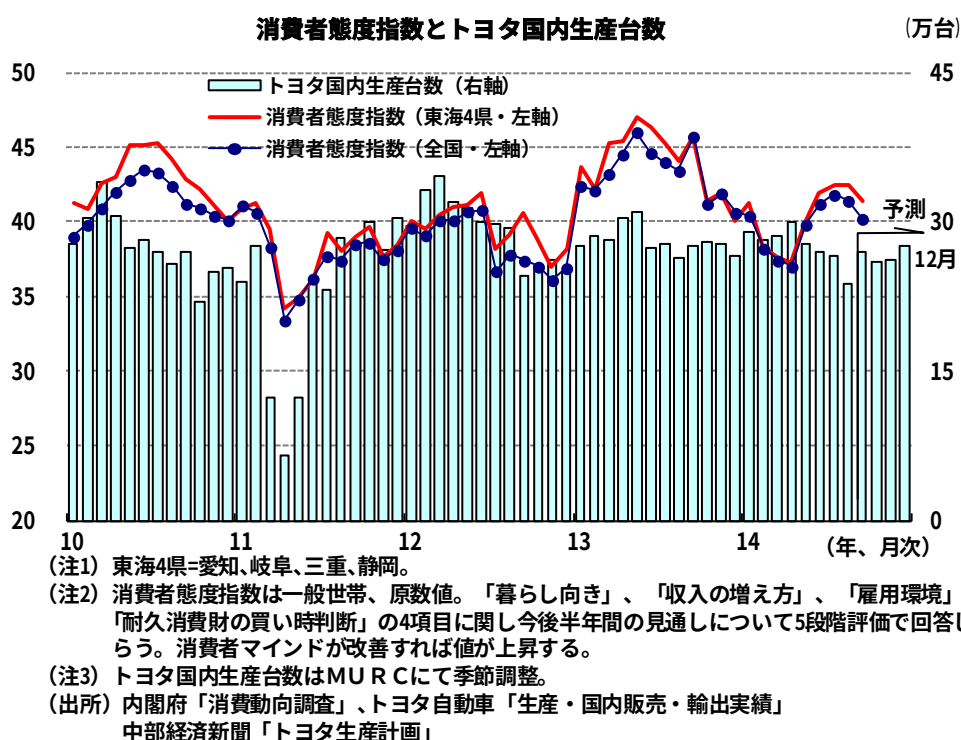
○9月の名古屋市内の百貨店販売額は、前年比＋2.8%と6ヶ月ぶりに増加した。8月の東海3県の大型小売店（百貨店＋スーパー、既存店）の販売額は同＋1.9%と5ヶ月ぶりに増加した。中部5県のコンビニ販売額（既存店）は、同－2.4%と5ヶ月連続で減少した。駆け込み需要の反動減から持ち直しているが、実質ベースでは弱い動きとなっている。



○8月の東海3県の新車登録台数（乗用車、含む軽）は、前年比－11.2%と2ヶ月連続で減少した。6月に前年比で増加となり、駆け込み需要の反動から脱したと思われたが、その後、減少が続いている。また、8月の中部8県の家電販売額は同一－6.2%と5ヶ月連続で減少した。駆け込み需要の反動の影響がまだ残っているとみられる。

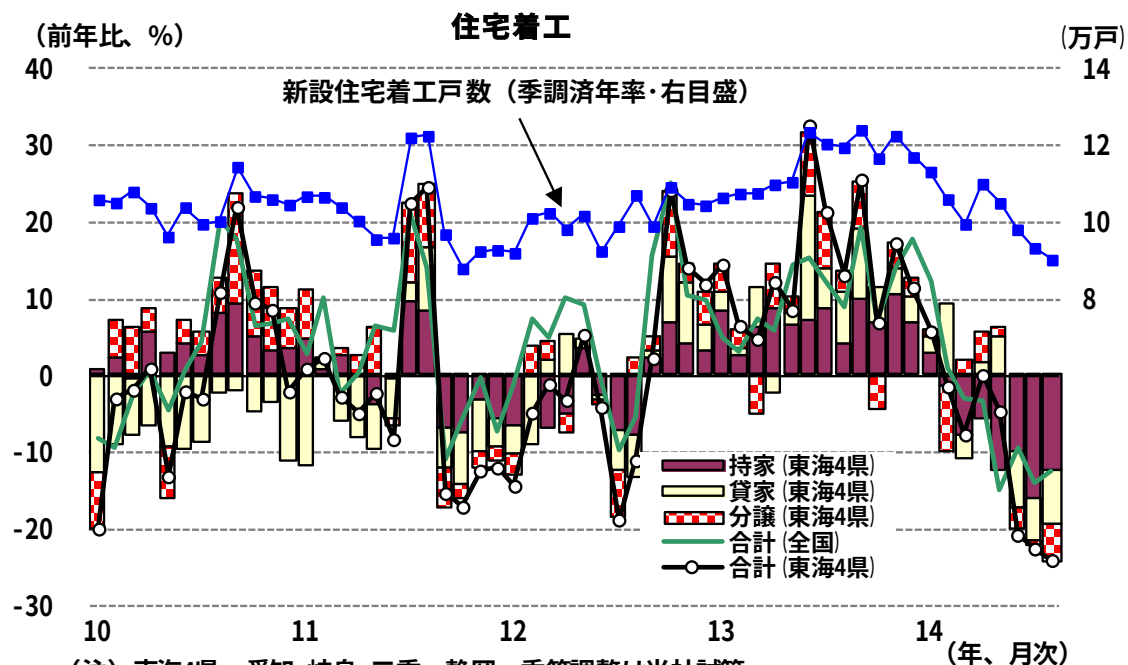


○消費者マインドを表す9月の消費者態度指数（東海、一般世帯、原数値）は、前月差－1.0ポイントと、2ヶ月連続で低下となり、弱含んできている。8月のトヨタの国内生産は前月比減少となった。今後のトヨタの生産水準は下げ止まりが見込まれているが、物価上昇による実質賃金の減少もあるため、まずは消費者マインドの改善は見込みにくい。



6. 住宅投資 ～減少している

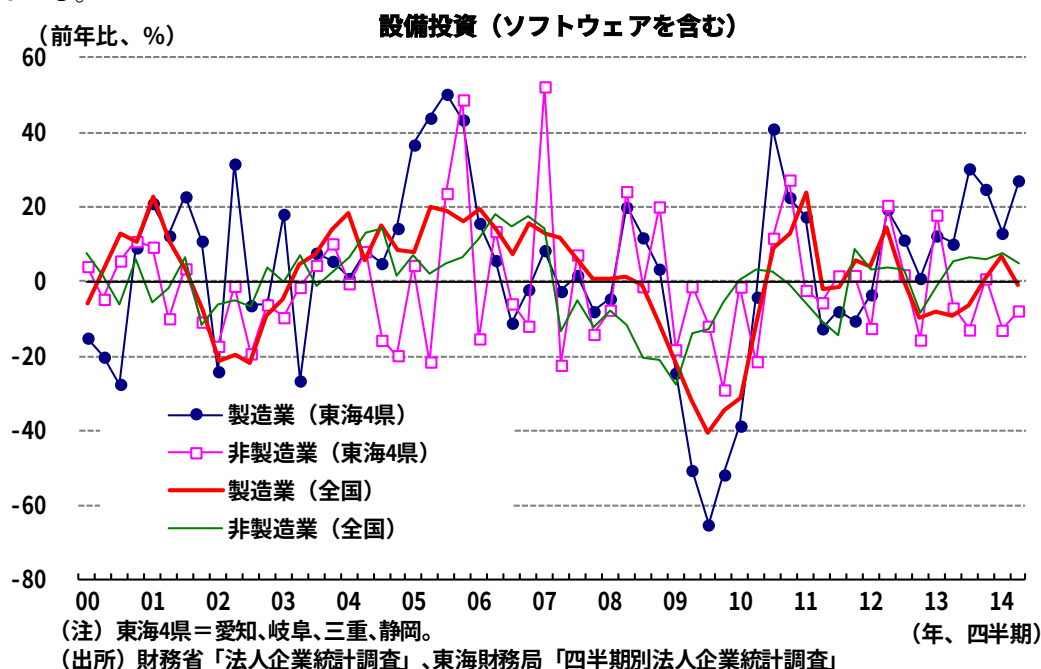
○8月の東海4県の住宅着工戸数（季調済）は、前月比－3.3%と4ヶ月連続で減少した。前年比でも－24.0%の7,867戸と4ヶ月連続の減少となった。利用関係別の寄与度では、分譲が同－4.6%、貸家が同－7.3%、持家が同－12.3%となった。東海地区の着工は、駆け込みからの反動減が続いていたが水準はかなり低下しており、今後は次第に下げ止まってくると見込まれる。



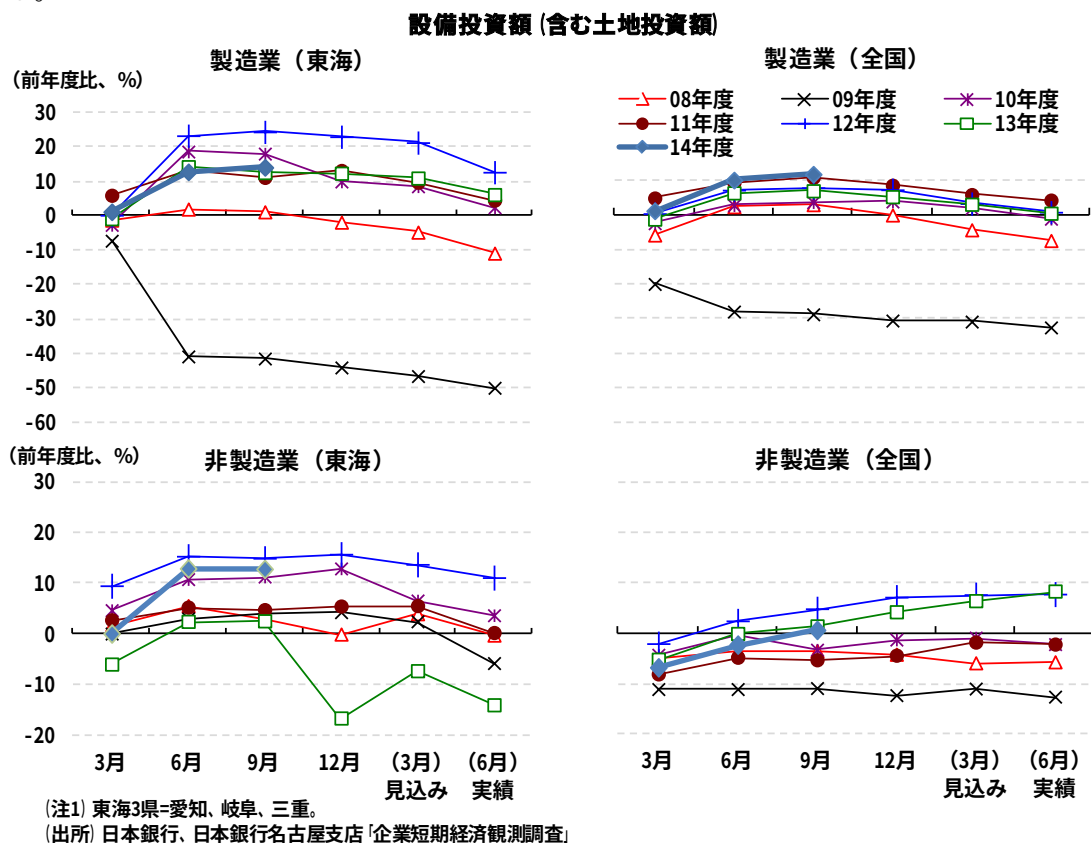
(注) 東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。季節調整は当社試算。
(出所) 国土交通省「建設着工統計」

7. 設備投資 ～製造業は増加している

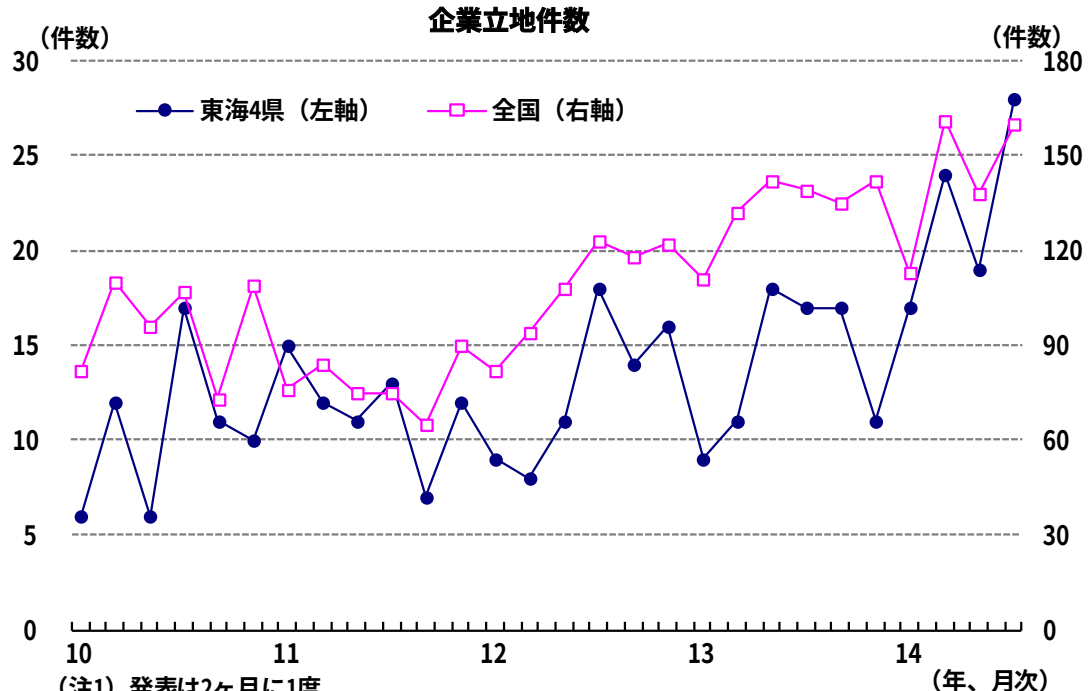
○2014年4～6月期の東海4県の設備投資(ソフトウェアを含む)は、前年比+10.6%と、2四半期ぶりに増加した。製造業は同+27.1%と増加したが、非製造業が同-7.8%と減少した。全国は非製造業の設備投資を中心に増加しているが、東海では非製造業が減少傾向にあるのに対し、製造業は増加基調が続いている。



○日銀短観9月調査によると、東海3県の14年度設備投資計画は製造業が前年比+14.1%、非製造業は同+12.7%と増加を見込んでいる。前回調査(6月調査)と比較すると、製造業は上方修正、非製造業はほぼ横ばいとなっている。全国と比較しても、製造業、非製造業ともに高水準の設備投資が計画されている。



○2014年6月・7月の東海4県の企業立地件数は28件と、前期（19件）から9件増加し、前年同期（17件）と比べると11件増加した。東海地域では、2012年以降、円高定着などもあり製造業を中心に全国と比べて企業立地件数が伸び悩んでいたが、全国並みの動きとなってきた。



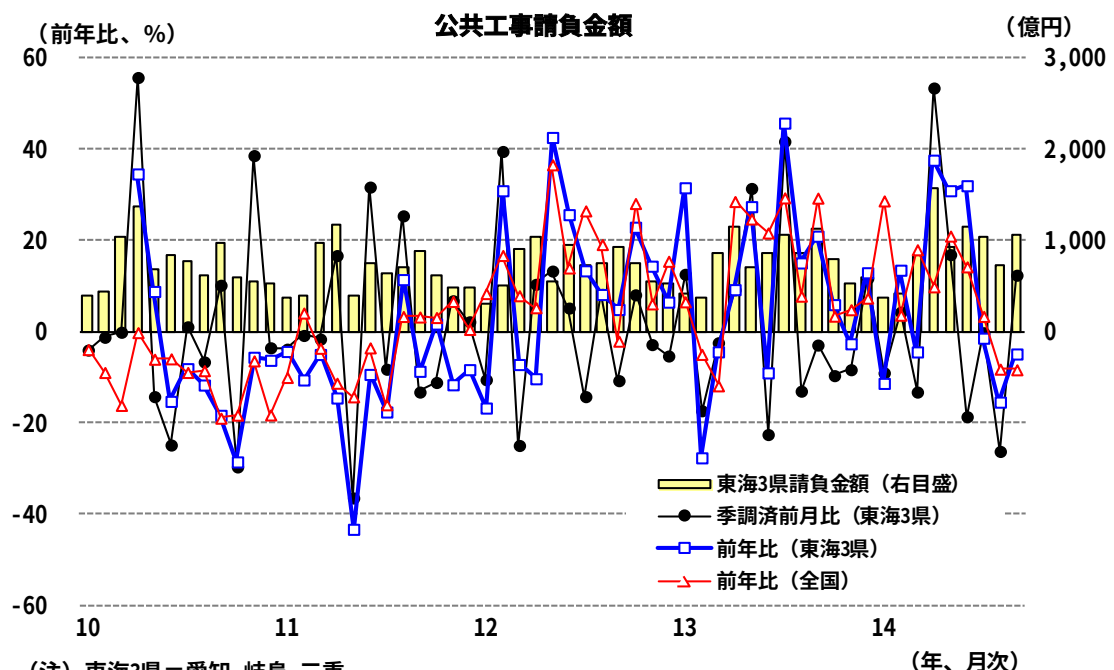
(注1) 発表は2ヶ月に1度。

(注2) 東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。

(出所) 日本立地センター「産業立地」

8. 公共投資 ～増加が一服している

○9月の東海3県の公共工事請負額は、前年比－4.8%の1,070億円と3ヶ月連続で前年を下回った。発注者別では、国が同－32.7%と3ヶ月連続で減少、地方は同＋77.2%と2ヶ月ぶりに増加した。9月の季調済み前月比は＋12.5%と4ヶ月ぶりに増加した。公共工事の請負は、消費税増税に伴う対策の効果により増加傾向で推移してきたが足下では増加が一服しており、今後も横ばい推移が見込まれる。

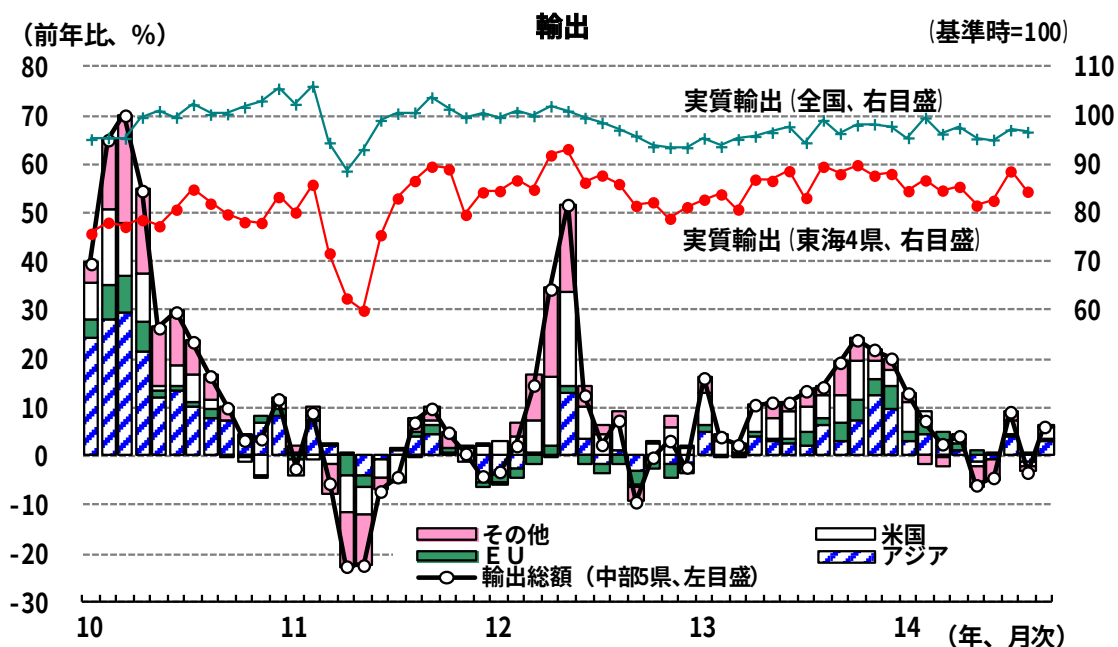


(注) 東海3県＝愛知、岐阜、三重。

(出所) 日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」、保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株) 東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

9. 輸出入 ～輸出は下げ止まり、輸入は横ばい圏

○8月の実質輸出（季調済）は、前月比－4.7%と3ヶ月ぶりに減少したが、下げ止まり基調にある。一方、9月の名古屋税関管内の輸出額は前年比＋6.1%と2ヶ月ぶりに増加した。アジア向けが同＋7.7%と2ヶ月ぶり、米国向けが同＋8.9%と2ヶ月ぶり、EU向けが同＋5.0%と18ヶ月連続で増加した。海外景気は緩やかな回復が見込まれ、輸出は下げ止まりから次第に持ち直すと見込まれる。

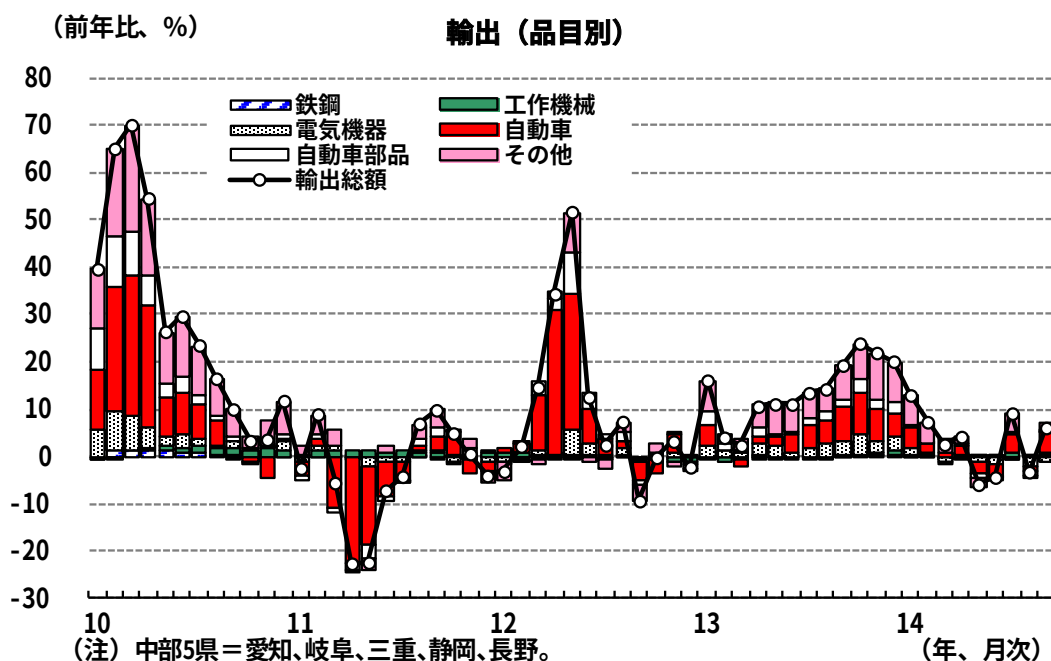


（注1）実質輸出＝東海4県の基準は2007年12月としMURC試算。全国の基準は2010年。

（注2）中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。東海4県＝愛知、岐阜、三重、長野。

（出所）財務省「貿易統計」日本銀行「実質輸出入」
日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」

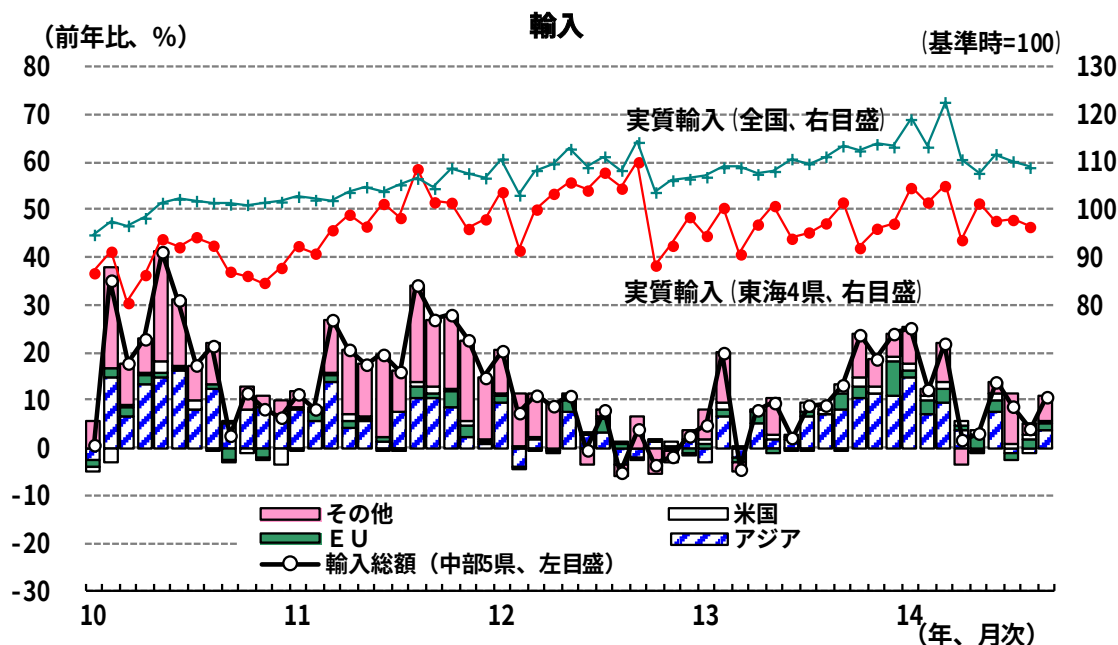
○9月の名古屋税関管内の輸出額を品目別にみると、主力の自動車（前年比＋13.8%）と自動車部品（同＋0.7%）は、ともに2ヶ月ぶりに増加となった。また、工作機械（同＋34.9%）は6ヶ月連続で増加、鉄鋼（同＋14.5%）は2ヶ月連続で増加した。一方、電気機器（同－7.4%）は7ヶ月連続で減少した。



（注）中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。

（出所）財務省「貿易統計」

○8月の実質輸入（季調済）は、前月比-1.5%と2ヶ月ぶりに減少した。一方、9月の名古屋税関管内の輸入額は前年比+10.8%と18ヶ月連続で増加した。品目別には、原油及び粗油、自動車、液化天然ガスが、地域別にはアジア、米国、EU等が増加に寄与した。今後は、需要動向を反映して、実質輸入は緩やかに持ち直すと見込まれる。



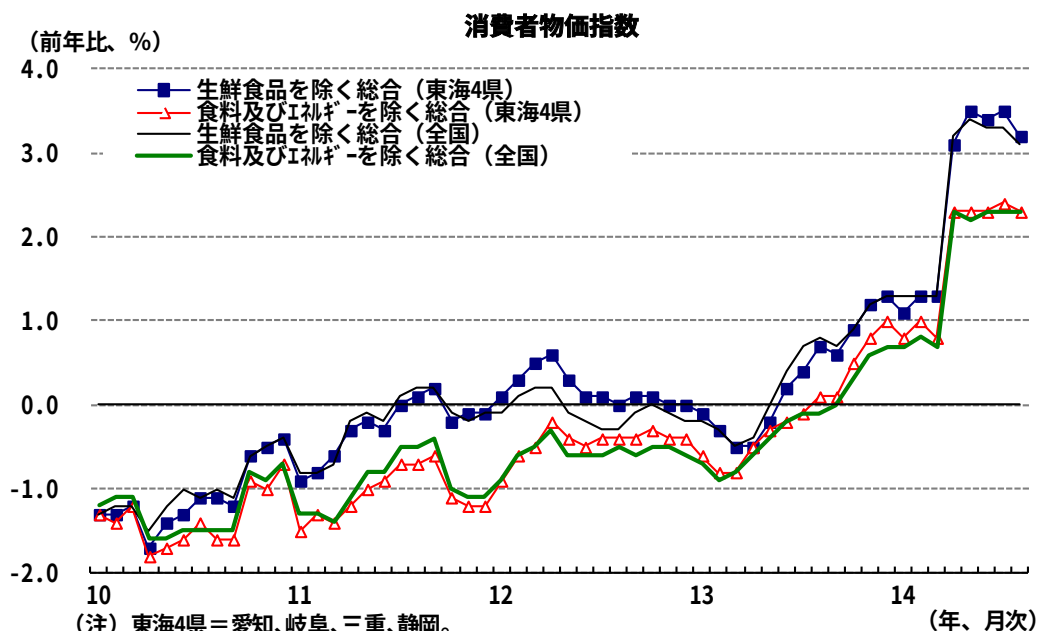
（注1）実質輸入＝東海4県の基準は2007年12月としMURC試算。全国の基準は2010年。

（注2）中部5県＝愛知、岐阜、三重、静岡、長野。東海4県＝愛知、岐阜、三重、長野。

（出所）財務省「貿易統計」日本銀行「実質輸出入」
日本銀行名古屋支店「東海3県の金融経済動向」

10. 物価 ～消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇

○8月の東海4県の消費者物価指数は、生鮮食品を除く総合で、前年比+3.2%と大幅に上昇し、15ヶ月連続のプラスとなった。電気・ガス代、自動車等関係費、日用品、衣料など幅広い品目で上昇した。食料・エネルギーを除く総合は、同+2.3%と13ヶ月連続のプラスとなった。消費増税後は幅広い品目で消費増税分の価格転嫁が進んでおり、物価は大幅な上昇が続くとみられる。

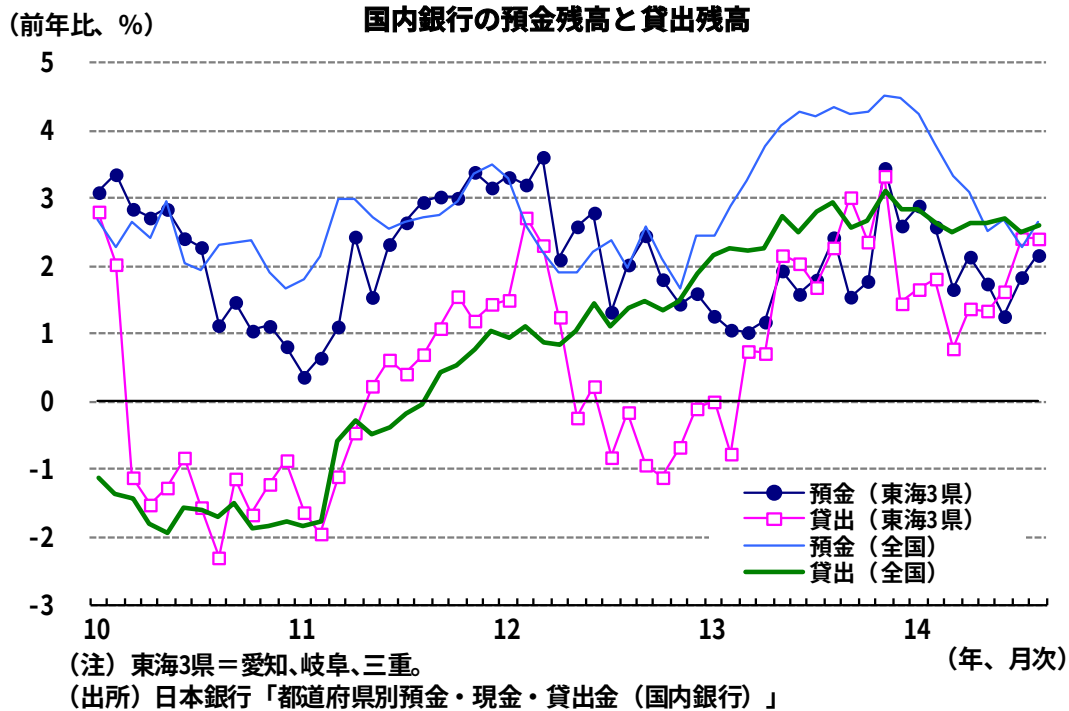


（注）東海4県＝愛知、岐阜、三重、静岡。

（出所）総務省「消費者物価指数」

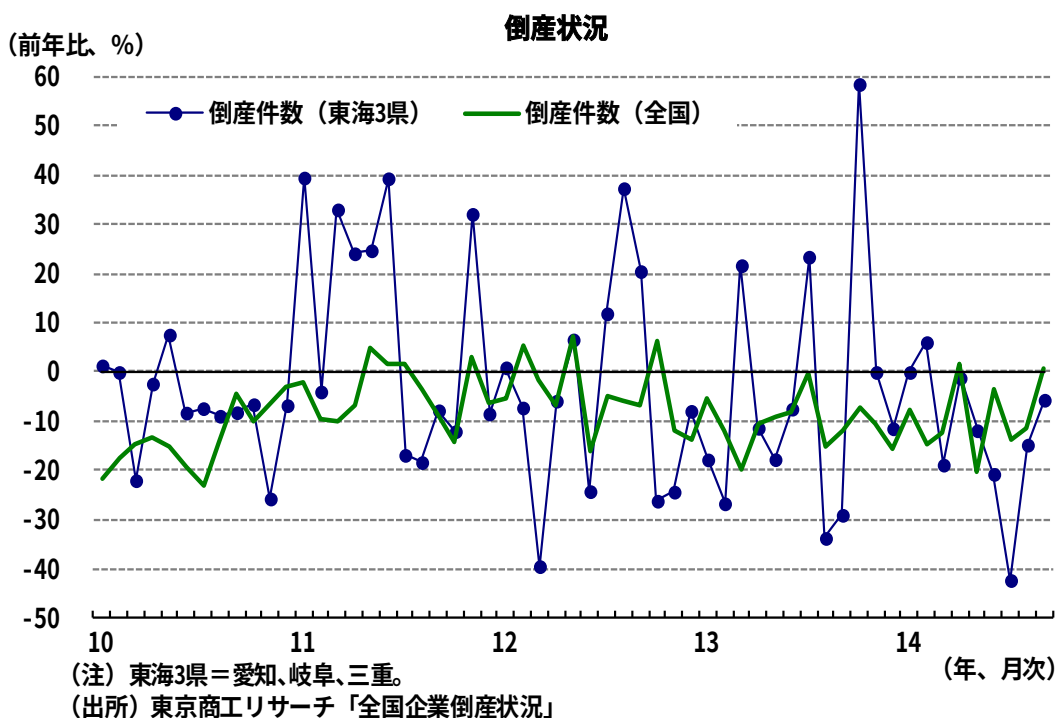
11. 金融 ～預金、貸出ともに増加

○8月の東海3県の預金残高（国内銀行ベース）は、個人預金が堅調に推移し、前年比+2.2%と増加が続いている。貸出残高（国内銀行ベース）は、同+2.4%と18ヶ月連続で増加したが、日銀名古屋支店では企業買収関連の大口貸出の寄与が増加の一因とみている。貸出残高は今後も緩やかな増加が続くと見込まれる。



12. 倒産 ～倒産件数、負債総額ともに減少

○9月の東海3県の倒産件数は67件と前年比で-5.6%と減少した。三重県（同+12.5%）は4ヶ月ぶりに増加、愛知県（前年比-7.7%）は5ヶ月連続、岐阜県（同-9.1%）は2ヶ月連続で減少した。また、8月の東海3県の負債総額は、同-4.2%の117億円と6ヶ月連続で前年を下回った。



【全国及び関西地区との比較】

【今月の景気予報】

		3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後			3ヶ月前～	現況	～3ヶ月後
景気全般	全国	↘	☁	→	輸出	全国	↘	☁	↗
	東海	↘	☁	→		東海	→	☁	→
	関西	→	☁	→		関西	↗	☁☔	↗
個人消費	全国	→	☁	↗	輸入	全国	→	☁	↗
	東海	→	☁	→		東海	→	☁	↗
	関西	→	☁	→		関西	→	☁	↗
住宅投資	全国	↘	☁	→	生産	全国	↘	☁	→
	東海	↘	☁	→		東海	↘	☁☀	→
	関西	→	☁	→		関西	↘	☁	→
設備投資	全国	↘	☁	↗	雇用	全国	→	☁	→
	東海	↗	☁	↗		東海	→	☁	→
	関西	↗	☁☔	↗		関西	→	☁	→
公共投資	全国	→	☁	→	賃金	全国	↗	☔	↗
	東海	→	☁	→		東海	↗	☁	→
	関西	→	☁	→		関西	↗	☔	→



：晴れ



：薄日



：曇り



：小雨



：雨

- (注) 1. 3ヶ月前～、～3ヶ月後は「現況」の変化の方向感（改善、横ばい、悪化）を表し、「現況」は現在の水準を天気マークで表す。
 2. シェード部分は、前月から矢印および天気マークを変更した項目を表す。
 3. 全国は10月2日時点の予報。全国の天気マークは、晴れ、曇り、雨の3種類のみ。

【各項目のヘッドライン】

項目		9月のコメント	10月のコメント
1. 景気全般	全国	弱含んでいる	弱含んでいる
	東海	回復が一服しており、一部に弱い動きがみられる	弱含んでいるが、一部に下げ止まりの動きがみられる
	関西	緩やかに持ち直している	持ち直しが一服している
2. 生産	全国	弱含んでいる	減少している
	東海	減少傾向にある	下げ止まりの動きがみられる
	関西	緩やかに増加	減少している
3. 雇用	全国	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる
	東海	横ばい圏で推移している	横ばい圏で推移している
	関西	横ばい圏で推移している	横ばい圏で推移している
4. 賃金	全国	持ち直している	持ち直している
	東海	緩やかに持ち直している	持ち直している
	関西	持ち直している	持ち直している
5. 個人消費	全国	反動減からの持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きが鈍っている
	東海	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち
	関西	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち	駆け込み需要の反動減から回復したが、実質では頭打ち
6. 住宅投資	全国	下げ止まりつつある	下げ止まりつつある
	東海	弱含んでいる	減少している
	関西	弱含んでいる	横ばい圏で推移している
7. 設備投資	全国	反動減により減少したが、基調としては緩やかに増加	反動減により減少したが、基調としては緩やかに増加
	東海	製造業は増加している	製造業は増加している
	関西	持ち直している	持ち直している
8. 公共投資	全国	横ばい	横ばい
	東海	増加が一服している	増加が一服している
	関西	増加が一服している	増加が一服している
9. 輸出入	全国	輸出は弱含み、輸入は下げ止まりの動きがみられる	輸出は弱含み、輸入は下げ止まりの動きがみられる
	東海	輸出は下げ止まり、輸入は横ばい圏	輸出は下げ止まり、輸入は横ばい圏
	関西	輸出は緩やかに持ち直し、輸入は横ばい	輸出は緩やかに持ち直し、輸入は弱含み
10. 物価	全国	消費税率引き上げにより、国内企業物価、消費者物価とも大幅に上昇	消費税率引き上げにより、国内企業物価、消費者物価とも大幅に上昇
	東海	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇
	関西	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇	消費者物価は消費税率引き上げにより大幅に上昇
11. 金融	全国	銀行貸出、マネーストックともに緩やかに増加	銀行貸出、マネーストックともに緩やかに増加
	東海	預金、貸出ともに増加	預金、貸出ともに増加
	関西	預金、貸出ともに増加	預金、貸出ともに増加
12. 倒産	東海	倒産件数、負債総額ともに減少	倒産件数、負債総額ともに減少
	関西	倒産件数、負債総額ともに減少	倒産件数は増加、負債総額は減少

（注）シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目（11.金融、12.倒産を除く）

「グラフで見る東海経済」の見方

【今月の景気判断】

○レポート発表時における景気判断。**【今月の景気予報】**における各項目の現況をもとに総合的に判断。

【今月の景気予報】

○3ヶ月前～・・・3ヶ月前～現況の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。

○現況・・・各項目の現在の「水準」を①晴れ、②薄日、③曇り、④小雨、⑤雨の5段階に分類。

○～3ヶ月後・・・現況～3ヶ月後の「方向感」を、①改善、②横ばい、③悪化の3段階に分類。

（注）

現況をあらわす天気マークはあくまで「水準」を判断したもので、3ヶ月前～の矢印が①改善、③悪化の場合でも、必ずしも天気マークが変更されるわけではない。

【当面の注目材料】

○各項目の現況、見通しをふまえて、今後景気を判断する上で注目すべきポイント。

【各項目のヘッドライン】

○全12項目について、毎月簡単なヘッドラインを記載、当月と前月のものを対比して示している。

○右端は各項目のグラフが掲載されているページ数。

【前月からの変更点】

○景気予報において判断の変更があった場合に変更理由を記載。

【主要経済指標の推移】

○当レポートで用いられている経済指標の半年間の動きを掲載。

【各項目】

○発表されている経済指標を元に現況の判断、今後の見通しをグラフを用いて解説。

【全国及び関西地区との比較】

○【今月の景気予報】と【各項目のヘッドライン】について、全国（グラフで見る景気予報）と関西地区（グラフで見る関西経済）の判断と、一覧表で比較。

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡下さい。